



日本住を快適空間!

ダンネット通信

2007.2-3 vol.54

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目63-636 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

今月のトピックス

世界から見た日本の自然エネルギー利用

温室効果ガス削減に効果

先進諸国が温室効果ガスの排出量を、1990年比で決められた分だけ削減することを定めた京都議定書の発効から2年が過ぎようとしています。約束期間の2008～2012年はもう目の前となり、今後、日本を始め先進諸国は温室効果ガス排出量削減に真剣に取り組まざるを得ない状況です。

そこで対策の一つとして各国で進められているのが自然エネルギーの有効利用。ドイツやデンマークといった環境先進国はもちろんですが、日本でも太陽光発電や風力発電の導入が目立つようになってきました。

太陽光発電は 世界トップレベル

最もポピュラーな太陽光発電に関しては、実は2004年末時点で日本は世界最大の導入国。当時の太陽光発電導入量は日本が113.20万kWで全世界の43.6%を占めていました。ドイツが79.40万kWで2位、アメリカが36.52万kWで3位となりましたが、太陽光発電所の建設を進めたドイツが2006年には日本を抜いてトップになったようです。なお、太陽電池の生産量については1999年以降、日本がトップを守り続けています。

日本の住宅用太陽光発電の現状を見ると、これまでの国の補助制度の後押しなどもあり、屋根設置型3kWのシステムは工事費込みで200万円強

と、10年前のほぼ半分。ただ、1kWhあたりの発電コストは、まだ家庭用電気料金の約2～3倍と言われており、天候や日照条件によって発電出力が不安定になるなどの課題も残ったままです。

思うように伸びない風力発電

風力発電については、家庭に設置するケースこそまだ少ないものの、北海道や東北の海沿いの地域で大規模な発電施設が建設されており、2003年時点での累積発電導入量は69万kWです。ちなみに世界のトップはドイツで1.46万MW（1MW＝1000kW）と日本の約21倍。これは1991年から国で自然エネルギーによる電力の全量買い取り保証を行っていることが大きく影響しているからです。日本でも2003年から電力会社に対して風力などのエネルギー



太陽光発電導入量・生産量では日本が世界トップレベルにある（写真はイメージです）

による一定量の電気の導入を義務付けた新エネルギー特措法を施行しましたが、電力会社が導入枠に制限を設けたりしたことなどによって、思うように伸びていないのが現状です。

これらの自然エネルギーを普及させて地球温暖化を防ぐためには、ドイツのように国の積極的な支援が欠かせないでしょう。それによって多くのエンドユーザーに自然エネルギーを利用することの意義を理解してもらえれば、住宅産業にも新たな可能性が生まれるのではないのでしょうか。

特集

シュトーサーモ クラシックの最新デザイン事例

簡単な施工で外断熱と塗り壁仕上げを同時に実現できるドイツ・シュトー社の湿式外断熱外装システム「シュトーサーモ・クラシック」。ダンネツで取り扱いを開始してから3年が経ち、施工例も新築・増改築問わず、徐々に増えつつあります。その中でも最近ではシュトーサーモ・クラシックの特徴である独自のカラーデザインや、複雑な形状の建物にも対応できる優れた施工性を活かした事例を多く見かけるようになりました。そこで今回はシュトーサーモ・クラシックによる最新のデザイン事例を紹介します。

光をアクセントに使った外壁

最初に紹介するのは、円柱状の外観が目目を引く近未来的な歯科医院併用住宅（事例1）。1階を治療スペース、2階を居住スペースとした新築のRC造で、夜間はガラス張りの診察室の照明を付け、ライトアップしたショーケースのように見せることでネオンサインとして機能させています。また、外壁にはアクリル棒が200カ所に埋め込まれており、夜には特注色のホワイトで仕上げた外壁に室内の光が星のようにやさしく浮かび上がるのも大きな特徴。湿式外断熱仕上げの外装で光



事例1 帯広市・ハヤシデンタルクリニック新築工事（㈱ヒコ コニシ設計事務所設計）

をアクセントに使った斬新なデザインと言えるでしょう。

乾式仕上げとのコラボレート

次に小学校の改築工事（事例2）です。この建物でポイントとなっているのは湿式外装と乾式外装のコラボレート。イエローの壁などシュトーサーモ・クラシックで仕上げた部分と、鋼板や人工木材で仕上げた部分を組み合わせ、見た目にも楽しく、子供たちがワクワクするようなデザインとなっています。異なるテクスチャーとカラーを上手に使い分けた好例です。



事例2 厚岸町・真龍小学校改築工事（㈱アトリエア設計）

集合住宅の耐久性向上にもメリット

最後に集合住宅の新築・改修事例を二つ取り上げましょう。一つは築20年以上の民間賃貸集合住宅の断熱改修（事例3）で、結露と外装仕上げの劣化に対処するため、シュトーサーモ・クラシックを採用。改修前のイメージを残しながら新築同様の仕上がりを実現しました。外断熱とすることで躯体も劣化しにくい状態となり、耐久性の面



事例3 千歳市・ヨーク高台壱号館および貳号館断熱改修工事

でもメリットを発揮しています。

もう一つは札幌市で建て替えた市営住宅（事例4）。バルコニーのある建物正面の外壁部分がシュトーサーモ・クラシックで、側面部分は鋼板や吹付けタイルによる仕上げとなっています。公営住宅のようなオーソドックスなデザインにも対応し、耐久性の面でもメリットがあるシュトーサーモ・クラシックは、今後、公営住宅や公共施設でも多くの採用例が生まれることになりそうです。



事例4 札幌市・市営下野幌団地D-3号棟新築工事（㈱都市設計研究所設計）

「かんたんベース」採用2,000棟突破を記念して 特別謝恩キャンペーン実施中！

ダンネツでは、次世代省エネ基準対応の断熱性能や施工しやすいセパレーターなどが特徴の型枠兼用断熱材「かんたんベース」の採用実績が累計2,000棟を超えたのを機に、よりいっそうの普及を目指して謝恩キャンペーンを北海道各営業拠点で開始しました。

このキャンペーンは、9月末まで行われ、期間中に「かんたんベース」や「ダンネツ壁パネル」など壁・床のパネル製品を新規に採用して頂いた建設会社・工務店様に、記念品や断熱・気密資材などの特典を贈呈致します。特典の内容は各営業拠点によって異なり、北海道以外の営業拠点については近日中に開始する予定です。

キャンペーンについてのお問い合わせは各支店・営業所まで。



採用実績が累計2,000棟を超えた「かんたんベース」の施工現場。断熱性能や施工性が評価されて新規に採用する現場が増えつつある



シックハウス訴訟に備えることは？

Q…シックハウス対策は十分行っていますが、万が一訴えられたらと思うと非常に不安です。事前防衛というわけ

ではありませんが、ビルダーとしては前もってどのような訴訟対策をしておくべきでしょうか？

A…シックハウス訴訟は、シックハウス症候群や化学物質過敏症が社会問題化するに従ってよく耳にするようになり、住宅の建設・販売会社の責任を認めるケースも出てきています。

有害化学物質の放散が少ない建材を使い、換気システムを設置すれば安心だと思われかもしれませんが、化学物質に反応しやすい人は例えば室内空気中の化学物質濃度が低かったとしても、シックハウスなどを発症する可能性があるわけです。

そうなるとビルダーとしては原因を調べ、対策を講じることになると思いますが、ちょっとしたボタンの掛け違いから訴訟にまで発展してしまうこともゼロとは言いきれません。ビルダーに全く非はなかったとしてもです。

万が一訴訟になったとしたら、ビルダーは過失



引き渡し前にホルムアルデヒドなどVOC測定を行っている住宅

がなかったことを証明しなければならなくなるかもしれません。そこで、できれば行っておきたいのが室内化学物質濃度測定と換気風量測定です。

建築基準法ではホルムアルデヒド濃度で0.08ppm以下を前提に建材規制と換気回数0.5回/時の能力がある換気の義務化を行っているので、引き渡し時点でホルムアルデヒドが0.08ppm以下かどうかを確認しておくこと。そして換気風量測定を行い、0.5回/時の換気回数が確保されているかどうかを確認しておくことが大切です。

ただし、ユーザーが化学物質に過敏であることがわかっていた場合や、特に健康性に配慮することを契約に盛り込んでいた場合などでは、さらに別の方法で住宅の安全性を確認しておくことも必要でしょう。

●編●集●後●記●

◆地球温暖化の話題は、かなり昔からあったと思いますが、ここ数年で、異常気象や極地での異状がクローズアップされてきました。省エネに関わる企業として、当社も一助になれるよう勉強を重ねていきたいと思っています。(佐野)

◆年末年始は関東にある実家で過ごしましたが、テレビコマーシャルで某建設会社が「無暖房住宅」を宣伝していたのにはちょっとビックリ。寒さが厳しい北海道での無暖房は、まだ先の話になりそうです。(水越)



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netso.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-netso.co.jp

『快適な住まいづくり』はお任せ下さい！

- ブローイング工事各種
- 丸断熱工事
- 気密工事
- ウレタン吹付工事
- 断熱建材製造販売
- 住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町514番地1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■千歳支店	〒066-0008 千歳市根志越2190-27	TEL(0123)26-4111 FAX(0123)26-4112
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸営業所	〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡3660-15	TEL(029)291-1822 FAX(029)291-1825
■クレタ事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木301番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■ダンネツ信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016